



平成 27 年 7 月 29 日

国際化学オリンピック参加生徒の成績について

文部科学省では、国立研究開発法人科学技術振興機構を通じて、国際的な科学技術コンテストに参加する若者を支援する事業を実施しておりますが、このたび、アゼルバイジャン（バクー）で開催された「第 47 回国際化学オリンピック」に参加した生徒が、金メダル等を獲得したとの連絡を受けましたので、報告いたします。

（共同発表：「夢・化学-21」委員会、公益社団法人日本化学会）

1. 受賞状況 : 金メダル 2 名、銀メダル 2 名
2. 参加者 : 4 名の高校生
3. 受賞者詳細 :

まつもと はるき 松本 陽行さん	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎（大阪府）	3 年（18 歳）	金メダル
よしむら こうへい 吉村 耕平さん	麻布高等学校（東京都）	3 年（17 歳）	金メダル
たけうち あおい 竹内 碧さん	高知学芸高等学校（高知県）	3 年（17 歳）	銀メダル
なかつか ゆう 中塚 悠さん	武蔵高等学校（東京都）	3 年（17 歳）	銀メダル

（年齢は本大会終了時点のもの）
4. 参加国数/人数 : 75 か国・地域 / 292 名
5. 場所 / 期間 : アゼルバイジャン(バクー) /
平成 27 年 7 月 20 日 (月) ~29 日 (水)
6. 派遣機関 : 「夢・化学-21」委員会、公益社団法人日本化学会

（お問い合わせ）

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 新免、棚橋、山岸

電話：03-6734-4191

公益社団法人日本化学会 大倉、渡邊

電話：03-3292-6164

◆大会概要

- 国際化学オリンピックは1968年に東欧3か国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）にて第1回大会が開催された。
- 2015年のアゼルバイジャン大会は、第47回目。
- 日本は、2003年から参加を開始し、毎年4名の生徒を派遣。本年は13回目の参加。
- 昨年ベトナム大会は、75か国・地域、291名の生徒が参加し、日本の成績は金メダル1名、銀メダル2名、銅メダル1名であった。
- 本年は、75か国・地域から292名の生徒が参加し、日本は金メダル2名、銀メダル2名であった。
- なお、2021年国際化学オリンピックの日本での開催が、本大会開催期間中の7月26日に正式に承認された。

◆日本代表団の日程

7月19日（日）	成田空港出発
20日（月）	アゼルバイジャン・バクー到着
21日（火）	開会式
22日（水）	エクスカーション
23日（木）	実験問題試験
24日（金）	エクスカーション
25日（土）	筆記問題試験、再会パーティ
26日（日）	自由時間
27日（月）	エクスカーション
28日（火）	閉会式、フェアウェルパーティ
29日（水）	アゼルバイジャン・バクー発
30日（木）	成田空港着

◆参加生徒

<small>まつもと</small> 松本	<small>はるき</small> 陽行さん	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎（大阪府）	3年（18歳）	金メダル
<small>よしむら</small> 吉村	<small>こうへい</small> 耕平さん	麻布高等学校（東京都）	3年（17歳）	金メダル
<small>たけうち</small> 竹内	<small>あおい</small> 碧さん	高知学芸高等学校（高知県）	3年（17歳）	銀メダル
<small>なかつか</small> 中塚	<small>ゆう</small> 悠さん	武蔵高等学校（東京都）	3年（17歳）	銀メダル

◆国際化学オリンピックにおける過去3年間の日本代表の成績

2012年（第44回 アメリカ・ワシントンD.C.大会）

金メダル2名、銀メダル2名（参加規模：72か国・地域、283名）

2013年（第45回 ロシア・モスクワ大会）

銀メダル4名（参加規模：73か国・地域、291人）

2014年（第46回 ベトナム大会）

金メダル1名、銀メダル2名、銅メダル1名（参加規模：75か国・地域、291名）

◆国際化学オリンピック（IChO=International Chemistry Olympiad）について

1968年に東欧3か国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）が始めた高校生の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際大会である。参加資格があるのは高校生または高校と同等の学校（ただし高校相当の学年）に在学する20歳未満の生徒となる。

大会は世界の高校生が一堂に会し、化学の実力を競うと同時に交流を深めることを目的としている。毎年7月に10日間の日程で開催され、生徒らはそれぞれ5時間の実験問題と理論問題に挑戦する。成績優秀者には金メダル（参加者の約1割）、銀メダル（同約2割）、銅メダル（同約3割）が授与される。

日本は2003年のアテネ大会より参加している。

◆化学グランプリについて

「化学グランプリ」は、国際的にも通用する若い化学者を育てることを目的として、「夢・化学-21」委員会と日本化学会化学教育協議会が1998年、東京と仙台の2か所で試験的に実施したのが始まりである。翌1999年から、「全国高校化学グランプリ」として全国規模で開催されるようになり、今日では参加者が3,000人を超す大会に発展している。本大会は、毎年、国際化学オリンピックへの代表選手を選抜しており、高校2年生以下の成績優秀者約20名が同代表選手の一次候補生として推薦されている。

◆参考資料に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本化学会／大倉、渡邊

TEL03-3292-6264／FAX03-3292-6318

一般社団法人日本化学工業協会内／鎌田（「夢・化学-21」委員会）

TEL03-3297-2555／FAX03-3297-2615

○ ホームページ <http://icho.csj.jp/>

<http://www.kagaku21.net/>